

2024 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	松宮幹雄	法人・事業所の特徴	生協の介護理念「あなたらしさいつまでも」を念頭に、その人らしい暮らしの実現に向けて取り組んでいます。具体的には「生協 10 の基本ケア」という「利用者の尊厳をまもり、自立した在宅生活を支援するための介護指針」に基づき、利用者の「ふつうの生活」を取り戻す介護をめざして取り組んでいます。 地域との取り組みにおいては、「かっちやまきらめき保健室」を月 1 回開催し、地域住民が気軽に立ち寄れ、なんでも相談できる居場所作りにも取り組んでいます。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能型ホーム 勝山きらめきハウス	管理者	村崎陽子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3 人	人	人	1 人	人	4 人	人	8 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・認知症基本法を理解し、認知症の方が尊厳を保持しつつ希望を持って地域で暮らすことができるよう、ご本人の意向を尊重しながら支援していきます。 ・BLG（地域・社会・仲間とのつながりを大切にした新しい認知症共創コミュニティ）の考え方を学びます。 ・ご利用者の生活している地域で出来る事、したい事をご本人の思い、持っている力に着目し支援していきます。 ・統一ケアシート、担当職員のモニタリング、ケアマネのアセスメントシートを活用して支援につなげます。	・認知症の方を理解する取り組みとしてきらめき全職員に対して「認知症サポーター養成講座」を行いました。継続して認知症の方に対して優しい町づくりを目指します。 ・ご利用者 1 人 1 人に対し寄り添った支援を行うことができました。継続してご利用者の尊厳を大切にし、自立につながるための支援を行います。 ・iPad を活用してスムーズな情報共有を行い適切な支援をすることができました。	・事業所自己評価の項目は職員の取り組みになるので、外部の我々には見えていません。記載されていることをやっているのだなと言う事しか分かりません。 ・今回お話を聞いて職員の頑張りがなんとなくわかった部分もありますが、中の様子がわかるような機会があるといいですね。	・きらめきに気軽に足を運んでいただくためにも地域の方に見学会を行っていきます。認知症にやさしいまちづくりの活動を推進しご利用者 1 人ひとりの状態やニーズに寄り添いながら自立に向けた取り組みを行い安心して暮らせる環境を整えていきます。

B. 事業所の しつらえ・環境	・「勝山きらめき保健室」の活動を通して外部との交流を深めます。 ・きらめき行事(祭りや家族会等)を再開して施設内を見ていただきます。 ・上記行事以外でも、地域の方が気軽ににお越しいただけるよう敷居を低くできる取り組みを行っています。	・コロナが緩和されたことにより、施設を見学される方が増えました。 ・もっと気軽に立ち寄っていただけるようイベントや家族会を企画していきます。	・外部の立場では感染症が心配なのでなかなか出入りをするのは難しいです。 ・きらめきでこんなことをやっていきますといったお知らせやイベント情報の発信をするのもいいと思います。	・感染症予防は継続します。ご利用者が元気に暮らすことができるためにも健康体操など、地域の方にも参加いただく機会を作ります。 ・日々の活動の一部を気候に合わせて屋外でも行い地域の方も気軽に参加できる取り組みを考えます。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域(町内)の活動行事には住民として参加します。 ・勝山きらめき祭を地域住民と一緒に開催を行います。 ・地域のサロンにご利用者と一緒に参加し地域の方と交流をします。 ・随時相談対応(ご利用者に関りのある地域の住民の方々とも)できる体制を整えます。(職員も介護保険、その他必要に応じた研修に参加し、ご相談に対応できるスキルを高めます。)	・たくさんの方のご協力のおかげで、「勝山きらめき 10 周年祭」を開催することができました。 ・地域の方、各種団体とのつながりを広げることができました。	・何かあった時に近くにきらめきがあるので心強いとの地域の意見を聞きました。 ・行政だと敷居が高いようなので、身近に相談できる窓口があったらいいです。そこから行政ときらめきの連携が来るとよいです。	・町内の清掃活動などやサロンにも地域の方との交流の場として参加させていただきます。 ・ご利用者の楽しみ、地域住民への感謝の気持ちとしてきらめきまつりを開催します。 ・随時相談対応(ご利用者に関りのある地域の住民の方々とも)できる体制を整え状況に応じて行政に相談するなどの連携を図ります。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	・ご利用者が住む地区の地域資源(行事・活動)を知り、ご利用者とその方の住む地域をつなげる支援を行います。	・地域のイベントやサロンの活動にもご紹介いただきご利用者と共に楽しく参加させていただきました。 ・なじみのスーパーでの買い物や飲食店、床屋など一緒に外出し同時にきらめきを知っていただくきっかけにもなりました。	・きらめきの近くのサロンに参加しているのか、それとも実際に住まわれる地域の資源を利用されているのでしょうか。	・ご利用者の慣れ親しんだ社会資源の活用に近い近づけていきます。そのためにもご利用者の以前の暮らしや今できることを更に追求し、それに合わせた柔軟な対応ができるよう職員の知識、技術の向上も行います。

E. 運営推進会議を活かした取り組み	・運営推進会議を利用して地区内の情報交換、又地区と行政を繋げる場にしていきます。	・運営推進会議ではご利用者の利用状況の他、地区内や行政との情報交換が行えました。	・地域の方の相談を受けているが、一人暮らしの方などなかなか立ち入れないです。きらめきを含め身近な相談先があるといいです。	・運営推進会議の開催は地域からの貴重な情報をいただく機会として今後も必要な会議として開催します。活発なご意見をいただき、きらめきの業務改善やご利用者、地域の方へのお役立ちにつながる運営に活かしていきます。
F. 事業所の 防災・災害対策	・勝山きらめきの防災計画の内容を運営推進会議でお伝えします。 ・地区の防災訓練の再開時はきらめきも参加します。 ・きらめきでは、地域住民の方と一緒に、年2回、防災訓練を継続します。 ・作成した事業継続計画（BCP）に基づき、感染症や災害が発生した場合であっても必要な介護サービスを継続的に提供できる体制を構築していきます。	・勝山きらめきの防災計画の内容については、運営推進会議でお伝えできませんでした。 ・防災訓練には地域の方も参加頂き、ご利用者の避難誘導や、階段での車椅子利用者の移動の仕方を訓練していただきました。 ・作成した事業継続計画（BCP）に基づき、感染症や災害が発生した場合であっても必要な介護サービスを継続的に提供できる体制を構築していきます。	・訓練では階段の位置や火災報知機などの機材の場所を改めて知る機会になりました。 ・地域の方にどういう事ができて、何を協力するといったのかを明確にして、地域の住民で共有するといいいです。	・勝山きらめきの防災訓練を年2回行い、地域の方には事前に日程お伝えし運営推進会議でも報告をさせていただきます。 ・地区の防災訓練の再開時はきらめきも参加します。 ・作成した事業継続計画（BCP）に基づき、感染症や災害が発生した場合であっても必要な介護サービスを継続的に提供できる体制を継続していきます。